

令和5年度 川口文化服装専門学校

自己評価報告書

令和6年4月

学校法人 文化学園

## 令和5年度 川口文化服装専門学校 自己評価報告書 目次

1 学校の現況.....	1
1.1 学校名.....	1
1.2 所在地.....	1
1.3 本学の沿革.....	1
1.4 学科の構成.....	1
2 高等課程、項目別の自己評価.....	2
2.1 学校の教育目標.....	2
2.2 本年度に定めた、重点的に取り組むことが必要な目標や計画.....	2
2.3 評価概要.....	2
2.4 評価項目の達成及び取組状況.....	3
2.5 集計結果.....	11
3 総合的な評価結果.....	11

## 1 学校の現況

### 1.1 学校名

学校法人文化学園 川口文化服装専門学校

### 1.2 所在地

〒332-0016 埼玉県川口市幸町 3 丁目 5-33

### 1.3 本学の沿革

昭和 23 年 5 月	学校設置認可を得る
昭和 29 年 11 月	学校法人文化学園となる 経営体系を公共的組織に改め、施設設備を拡充
昭和 51 年	専門学校として認可 教育内容の充実向上を図り、専門課程および高等課程を設置
昭和 63 年 4 月	高等課程にて技能連携を開始 連携先、埼玉県立大宮中央高等学校の単位制による通信制課程
昭和 63 年 10 月	高等課程修了時、大学入学資格付与の指定を受ける
平成元年	課程名称を「服飾・家政高等課程服装科」、「服飾・家政専門課程服装科」 に変更、専門課程服装科に外国人留学生の受入れを開始
平成 6 年 3 月	専門課程服装科修了者に対し、「専門士」称号の付与を認められる (文科省告示第 7 号)
平成 7 年 4 月	服飾・家政専門課程に「服飾専攻科」(修業年限 1 年)を設置 一般を対象とした「別科服装専科(社会人コース)」を設置

### 1.4 学科の構成

課程	学科	コース	修業年数	入学定員	総定員
高等	服装科	洋裁	3 年	5 名	75 名
	服装科	高校併修		20 名	
専門	服装科	洋裁	2 年	35 名	70 名
	服装専攻科	洋裁	1 年	10 名	10 名

## 高等課程

### 2 高等課程、項目別の自己評価

#### 2.1 学校の教育目標

服装に関する知識と技術を修得して、実社会に役立つ人間を育成すること。

#### 2.2 本年度に定めた、重点的に取り組むことが必要な目標や計画

【目標】 学生及び教職員の健康・安全を重視した学習環境の確保

【計画】

- ① シラバス（指導計画）の更なる見直し
- ② 資格取得の強化
- ③ 進路・就職活動に対する支援、指導の強化
- ④ 生徒・保護者との面談の実施と教師間での情報共有
- ⑤ 生徒や家庭と連携し、個別の学習支援体制の実施
- ⑥ 埼玉県立大宮中央高等学校との連携体制の更なる強化
- ⑦ 企業訪問、美術展鑑賞等の校外学習などの充実

【実績】

- ① 服飾造形では授業課題以外にも自由作品制作を行い、手芸や服飾デザインでは作品展での展示を踏まえ、見てもらえる作品になるようシラバスの見直しを行った。
- ② 洋裁技術認定試験 3 名受験（初級合格 2 名、中級合格 1 名）
- ③ 高等課程 3 年生は全員進学（文化服装学院 1 名、東京デザイナー学院 2 名）合格。
- ④ 三者面談にて進路調査シートを記入してもらい、親子での進路意識の共有を図った。
- ⑤ 体調不良の為、長期欠席が続く生徒へは自宅学習が出来るよう材料や説明書などを用意し対応を行った。
- ⑥ 巡回相談（年 2 回）作品点検（年 2 回）担任連絡会（年 2 回）を行い、大宮中央高等学校連携生担任と昨年度以上に生徒情報の共有を図った。
- ⑦ 「イヴサンローラン展見学」「研修旅行」「文化服装学院ファッションショー見学」「文化学園服飾博物館見学」「アリオ川口での作品発表ファッションショー開催」

#### 2.3 評価概要

学校教職員による自己評価の調査は令和 6 年 4 月に実施した。

対象者は、令和 5 年度に川口文化服装専門学校の高等課程にて学生の指導にあたる教職員（4 名）とした。

調査にあたって、評価項目は文部科学省の定める学校評価ガイドラインを参考とし、高等課程では 12 個の目次を定め、目次に沿った設問を数問設定した。

このうち、令和 4 年度から新規学生の受け入れを停止しているため、当該の項目については調査を見合わせた。

回答は適切な状態を 4、不適切な状態を 1 とし、4 段階で評価する方式とした。

集計に当たっては、各教職員の回答（数字）を集計の上、四捨五入により平均値を求めた。

## 高等課程

### 2.4 評価項目の達成及び取組状況

#### (1) 教育理念・目標

番号	評価項目	評価	昨年比
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	3	-
2	学校における職業教育の特色はあるか	3	-
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2	-
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	2	-
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	2	-
-	平均値	2	-

#### ① 課題

令和6年度の卒業生を最後に完全休校となるが、高等専修学校として求められるニーズに応えることのできる教育を目指し、本校の学生に適合した方法で人材育成に反映させていくことが必要となる。

#### ② 今後の改善方策

従来の方針を活かしつつ、時代のニーズに沿った教育方法を模索し、導入していく必要がある。

## 高等課程

### (2) 学校運営

番号	評価項目	評価	昨年比
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	2	-
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	2	-
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2	-
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	2	-
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2	-
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2	-1pt
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3	+1pt
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	+1pt
-	平均値	2	-

#### ① 課題

意思決定の簡素化・迅速化、運営方針の明確化。

#### ② 今後の改善方策

意思決定過程については前年度に引き続き手法の見直しを継続して行っていく必要がある。  
その他の学校運営についても施策を講じていく。

## 高等課程

### (3) 教育活動

番号	評価項目	評価	昨年比
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	-
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	2	-1pt
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3	-
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	+1pt
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2	-
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	2	-
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3	+1pt
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2	-
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3	+1pt
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	+1pt
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2	-
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	2	-
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	+1pt
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	2	-
-	平均値	3	+1pt

#### ① 課題

職業教育、キャリア教育において生徒の将来に有益な指導をすることが課題である。

#### ② 今後の改善方策

学校の中でどこまで追求するのかを見定めることも必要、また指導を行う教員の確保も含め実施方法を検討していく。

## 高等課程

### (4) 生徒指導等

番号	評価項目	評価	昨年比
1	基本的な生活習慣の確立のため取組が行われているか	4	-
2	生徒の安全管理のための取組等（災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障がいのある生徒等への支援など）が行われているか	3	+1pt
3	生徒・保護者からの相談体制が整備されているか	4	+1pt
4	進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか	4	-
-	平均値	4	+1pt

#### ① 課題

遅刻や体調不良などによる長期欠席者への授業対応、成績評価方法をどの様にしていくのか検討が必要。

#### ② 今後の改善方策

保護者を交えての生活習慣指導、欠席が続く生徒については自宅学習にて授業課題を行なえるよう準備を行い、対応に努める。

### (5) 特別活動等

番号	評価項目	評価	昨年比
1	クラブ活動等特別活動を奨励、支援しているか	1	-1pt
2	保護者会等と連携した活動を推進しているか	1	-1pt
-	平均値	1	-1pt

#### ① 課題

生徒数が少ない為、クラブ活動は当校独自での実施は難しい。  
また、保護者会等との連携も厳しい。

#### ② 今後の改善方策

技能連携校である、大宮中央高等学校での部活動周知を行う。



## 高等課程

### (6) 学修成果

番号	評価項目	評価	昨年比
1	進学率や就職率の向上が図られているか	4	+1pt
2	資格取得率の向上が図られているか	4	+1pt
3	退学率の低減が図られているか	4	+2pt
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	-
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3	+1pt
-	平均値	4	+1pt

#### ① 課題

卒業後のキャリア形成効果を把握しきれておらず、教育活動の改善に活用されていない。

#### ② 今後の改善方策

社会環境の変化に合わせ、キャリア形成に必要な能力を磨いていく教育活動の検討を行う。

## 高等課程

### (7) 生徒支援

番号	評価項目	評価	昨年比
1	生徒に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	+1pt
2	生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	3	-
3	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	-1pt
4	生徒の生活環境への支援は行われているか	3	-
5	保護者と適切に連携しているか	4	-
6	卒業生への支援体制はあるか	3	-
7	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	-
8	専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2	-
-	平均値	3	-

#### ① 課題

卒業生への支援体制が整っていない。

#### ② 今後の改善方策

卒業時に進路が決まっていない生徒に対し定期的に状況を把握し、就職や進学フォローが卒業後もできるような支援体制を検討していく。

### (8) 教育環境

番号	評価項目	評価	昨年比
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2	-
2	学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	2	-
3	防災に対する体制は整備されているか	2	-1pt
-	平均値	2	-

#### ① 課題

設備の老朽化。

#### ② 今後の改善方策

優先順位をつけ、予算の範囲内で改修、購入などを行っていく。

## 高等課程

### (9) 生徒の受入れ募集

番号	評価項目	評価	昨年比
1	新規生徒の受け入れ停止に伴い、本項の質問は未実施		

### (10) 財務

番号	評価項目	評価	昨年比
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2	-
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2	-1pt
3	財務について会計監査が適正に行われているか	3	-
4	財務情報公開の体制整備はできているか	2	-
-	平均値	2	-1pt

#### ① 課題

財政情報の公開が急務である。

#### ② 今後の改善方策

財務書類の準備および公開体制の整備の迅速化が必要である。

### (11) 法令等の遵守

番号	評価項目	評価	昨年比
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	-
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	-
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	-
4	自己評価結果を公開しているか	4	-
-	平均値	3	-

#### ① 課題

自己評価結果について理事長と教職員間での確認・改善についての打ち合わせが行われていない。

#### ② 今後の改善方策

問題点について改善方法を検討し実行していく。

## 高等課程

### (12) 社会貢献・地域貢献

番号	評価項目	評価	昨年比
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	-
2	生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	2	-
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3	-
-	平均値	3	-

#### ① 課題

生徒へのボランティア活動への情報告知ができていない。

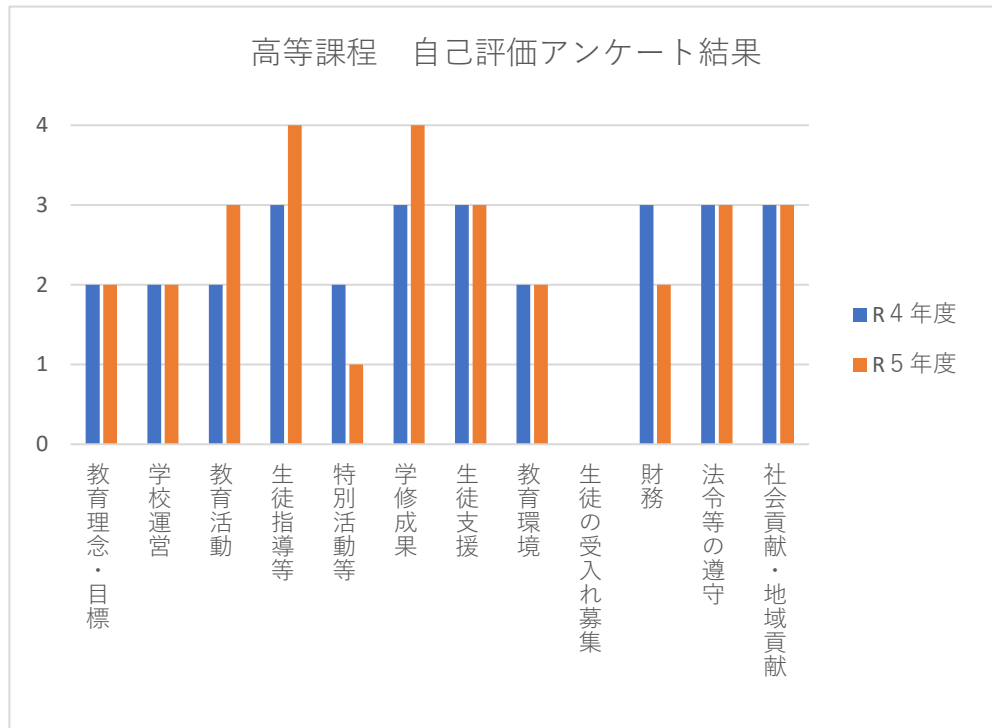
#### ② 今後の改善方策

教室内に掲示するなど情報の収集と開示方法を検討していく。

## 高等課程

### 2.5 集計結果

令和5年度の自己評価調査について、目次ごとの集計結果を下図に示す  
また、参考までに昨年度の平均値を記載した。



### 3 総合的な評価結果

教育活動、生徒指導、学修成果において昨年度よりも評価が1 pt上がった。

上記3項目については令和3年度からの改革内容の成果が出てきていると思われる。

特別活動、財務に関しては残念ながら昨年度を下回る結果となった。

新規の生徒募集を停止している影響は否めない。